

医療者対象ハイブリッドセミナー

もっと話そう がんと性（セクシュアリティ）のこと 開催のご案内

開催日時：2023年1月21日(土) 14:00 - 16:00

プログラム詳細 <https://www.cancernet.jp/sexuality2023>

参加申込 (Peatix) <https://cnj20230121.peatix.com/>

認定 NPO 法人がんネットジャパン（東京都文京区 理事長 岩瀬 哲）は、2023年1月21日(土)に医療従事者を対象に「がんと性（セクシュアリティ）」をテーマにしたハイブリッドセミナーを開催する運びとなりました。

認定 NPO 法人がんネットジャパンでは、2020年より日本対がん協会協力による休眠預金活用事業としてウェブサイトやセミナーでの情報発信など、がん患者・パートナーのセクシュアリティ支援を実施しています。啓発動画の制作 (<https://www.cancernet.jp/seikatsu/anime/>)、チャット形式の無料相談 (アプリ)、医療現場での患者支援用ツールとした小冊子「もっと知ってほしいがんと性にまつわること (<https://www.cancernet.jp/cands>)」の制作などを実施してまいりました。中でも、医療者対象のアンケート結果からは、医療者に対する情報提供の必要性が示唆されました。

ついては、がんの進行やがん治療に伴い影響を受ける性（セクシュアリティ）の問題に対して、医療従事者としての理解を深め、明日からの支援に役立てることを目的に、本セミナーを開催いたします。

今回のテーマは、患者さんやパートナーだけでなく、医療者からも話しづらいテーマの一つです。医療者としての知識と理解を深め、今日から何ができるのか、ともに考え、学ぶ機会となるように企画しました。本セミナーをきっかけに、多くの患者さんの悩みが軽減されることを期待しています。

開催概要

- セミナー名称：もっと話そう がんと性（セクシュアリティ）のこと
- 開催日時：2023年1月21日(土) 14:00-16:00
- 会場：東京国際フォーラム G510 | 有楽町駅徒歩1分
- オンライン会場：Zoomウェビナー（申込時に視聴URLをご案内します）
- 対象者：医療従事者、学生（医療系）
- 定員：会場参加：70名 / オンライン参加：500名（定員になり次第締め切ります）
- 参加費：無料
- 申込先：<https://cnj20230121.peatix.com/>
- 詳細：<https://www.cancernet.jp/sexuality2023>
- 主催：認定NPO法人がんネットジャパン
- 協力：公益財団法人日本対がん協会

【本件に関するお問い合わせ・取材申込先】

認定 NPO 法人がんネットジャパン 担当:池田

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

Eメール:info@cancernet.jp

■ 登壇者



昭和大学保健医療学部
教授 渡邊 知映



昭和大学藤が丘病院 泌尿器科
助教 山岸 元基



語り合いカフェ安曇野
主宰 柿本 聡



婦人科がん患者会よつばの会
代表 原 千晶

■ プログラム

14:00-14:25 (25min)	講演①	がん治療と性(セクシュアリティ) 渡邊 知映 昭和大学保健医療学部 教授
14:25-14:40 (15min)	講演②	がん手術治療と男性の勃起障害について 山岸 元基 昭和大学藤が丘病院 泌尿器科 助教
14:40-14:55 (15min)	体験談①	大腸がん・直腸/肛門がん経験者が語る 「がん」よりもつらかったこと 柿本 聡 語り合いカフェ安曇野 主宰
14:55-15:10 (15min)	体験談②	子宮頸がん・子宮体がん経験者が語る 見て見ぬふりをしてきた性について私が思うこと 原 千晶 婦人科がん患者会よつばの会 代表
(5min)	休憩	
15:15-16:00 (45min)	パネルディス カッション	みんなで考えよう！ がん患者・パートナーへのセクシュアリティ支援
16:00	閉会	

※会場にご来場の方にはキャンサーネットジャパン発行小冊子「もっと知ってほしい がんと性のこと」をプレゼントいたします。

※本事業は日本対がん協会の協力による休眠預金活用事業です。

<医療者を対象したセクシュアリティのアンケートについて>

2022/2/1~2022/9/20 に医療者を対象に弊法人が実施した「医療現場におけるがん患者・パートナーへのセクシュアリティ支援アンケート」では、回答した 104 名のうち、「がんやがん治療に伴う性生活に関する支援は必要だと感じていますか」の問いに、91.3%が「とても必要」あるいは「必要」と回答する一方で、「がんやがん治療に伴う性生活への影響について支援をした事がありますか」という問いに対し、「該当者へはいつもしている」への回答は 7.7%にとどまりました。

がん患者やそのパートナーに対して性生活への支援を困難にしている理由として、「説明・支援できる知識がない」「話をするきっかけがない」「自分自身の羞恥心があり踏み込めない」といったものがあげられました。

アンケート調査の結果：

https://www.cancernet.jp/wp-content/uploads/2022/09/sexuality_2022quest.pdf

【本件に関するお問い合わせ・取材申込先】

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン 担当:池田

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

E メール:info@cancernet.jp

NEWS RELEASE

<認定NPO法人キャンサーネットジャパン>

1991年発足。がん患者が本人の意思に基づき治療に臨むことができるように科学的根拠に基づく情報発信を行うことをミッションとして活動。2001年にNPO法人化。2007年1月に専用事務局を開設し、現在は東京と大阪を拠点に全国で活動を行っている。2016年8月認定NPO法人となり、現在主たる活動は、各種がんについての啓発イベント、養成講座や認定試験など教育事業等を実施。これらの活動を通して、がん向き合う人々が自分らしくがん向き合える社会を実現することを目指している。希少がんも含め、あらゆるがんに関する最新医療情報発信のため、2014年より毎年開催しているジャパンキャンサーフォーラムは、がん患者・家族のみならず一般市民を対象とした最大級のがん啓発イベントとなっている。

【本件に関するお問い合わせ・取材申込先】

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン 担当:池田

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

Eメール:info@cancernet.jp